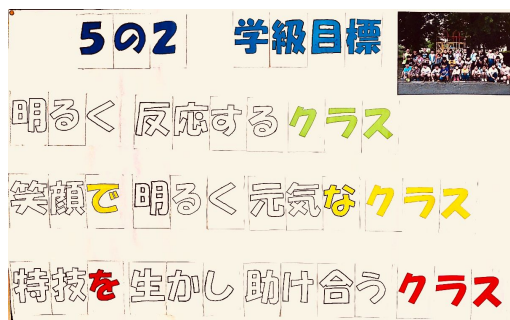
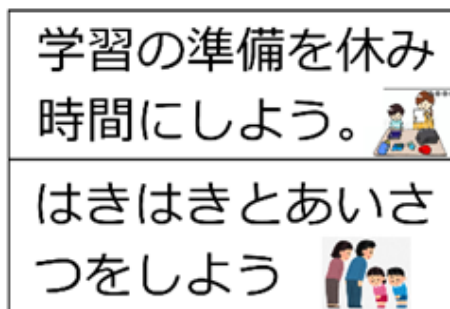


02 一日一目標

目標を決めて、それに向かって努力することは、自己効力感を高めるのに必要だと思います。努力していることが可視化されることで、自分たちの頑張りを実感できるだろう、と考えて始めたのが「一日一目標」です。



学級目標



行動目標

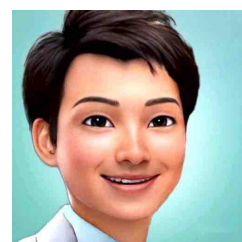


ビー玉貯金

学級目標を学級みんなで考えて掲示しても、一年間ただ掲示してあるだけという状況になってしまったことがありました。どうにか学級目標が書かれた掲示物を活用できないかと考えていた時に、学年主任の先生が行っていた取組を見て、やってみることにしたのが「一日一目標」です。

一日一目標とは、毎朝、その日に達成したい行動目標を決め、帰りの会で達成できたか振り返りをする、という取り組みです。例えば、「学習の準備を休み時間にしよう」「はきはきとあいさつをしよう」等の目標を決めて、達成できるようにします。これらの目標は、初めは教師が決めていましたが、途中から児童が行動目標を考えて、スクールタクトを活用して作成しました。自分たちで考えることで、児童に当事者意識が生まれ、「やらされている感」がなくなります。振り返り際には、学級目標の文字にシールを貼ったり、ビー玉を瓶に入れたりして、達成状況が一目でわかるようにしました。

この取り組みを通して、学級目標を意識しながら生活できるようになりました。目指す学級像に向かって、全員で努力できることに価値があると思います。また、毎日、目標を達成できるように頑張っている児童の姿を称賛することで、学級の雰囲気良くなったと感じています。そして、「できた」が積み重なることで、自己効力感が高まっていくと感じました。



学級通信（生徒版）の発行

行事の振り返りをする事は、よくあると思います。その振り返りを学級通信という形で行ってみました。行事を終えたあとを想像しながら、生徒同士で書きたい内容や、学級に発信したいことを決めます。行事の振り返りだけでなく、内容の中にお互いに関する項目を入れることで互いを褒め合う機会となり、自己効力感を高め合う活動にもなりました。



どんなものを作るか話し合う



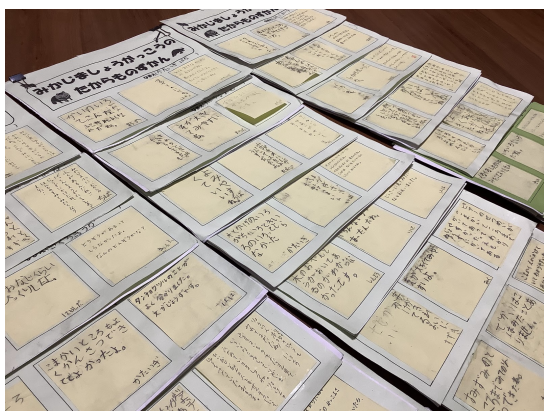
全員のものを掲示する

学級通信を生徒自身が書き、掲示物にすることで、行事や日頃の生活で思っていることや考えていることを文字で伝えることができます。特に行事では、運動や合唱が得意なメンバーが中心となって発言がなされ、苦手意識を持った生徒の声はなかなか学級に届かないことがあると思います。もちろん、同じ方向を向いて行事の成功や目標達成に向けて進みますが、学級みんなの声をみんなで聞くよい機会と考え、掲示物型の学級通信を作成しました。

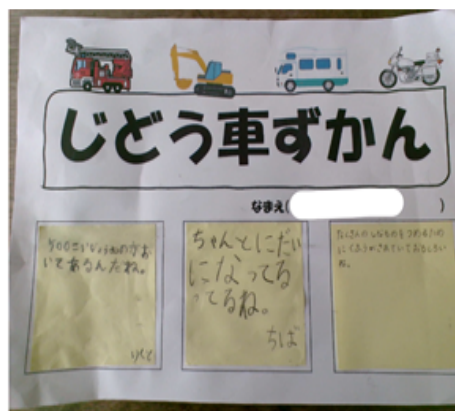


温かな言葉で包もう作戦

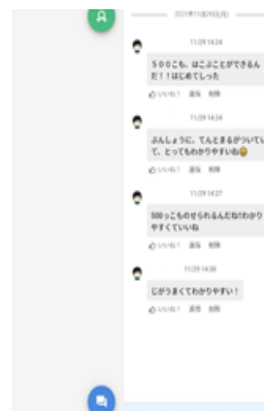
「すごいね」「がんばったね」などの温かい言葉かけは、児童の自尊感情を高めるために有効だと思います。そう思って実践した「温かな言葉で包もう作戦」です。



友達や保護者の方からもらった言葉の宝物



スクールタクトを使って6年生からの温かなコメント



1年生の国語の「じどうしゃくらべ」で、興味のある自動車の働きやつくりを調べて文章にする、という学習をしました。児童が一生懸命書いた文章をせっかくなら多くの人に見てほしいと思い、同学級の友達や保護者の方、6年生に読んでもらってコメントをもらうことにしました。付箋やスクールタクトのコメント機能を活用して、多くの人に温かな言葉をもらった児童は、とても満足した表情をしていました。

今までは、国語で書いた文章や図工の作品等は、同じ学年の児童同士で見合ったり、コメントを書き合ったりしてきました。しかし、今回の取組を通して、家族や他学年の児童からの温かな言葉をもらうことが、児童にとっての大きな喜びにつながることが分かりました。また、クロムブックを活用することで、他学年とのつながりを持たせることが容易になったと感じました。異学年交流を通して、温かな言葉が飛び交えば、多くの児童の自尊感情が高まると思います。「自分には価値がある」と思える児童が増えるように、常識にとらわれずに、新たな取組にチャレンジしていきます。

